

## ＜資料館紹介＞

明石高校に資料館があるのをご存じですか。資料館は、明石高校の正門を入れてすぐ左手にあります。その資料館の前身が山内記念図書館です。山内記念図書館は今の理科棟あたりにありました。昭和十年四月、初代校長の山内先生の還暦をお祝いし、これまで山内先生が勤務された学校の卒業生や明石中学の同窓会・保護者会からの寄付により建てられたものです。建設された当時は近代的なスマートな洋館で、三階建ての書庫には各方面の篤志家や山内校長自ら寄贈された貴重な書物が保管されていました。

山内記念図書館は、平成2年の校舎改築の際に取り壊され、貴重な書籍はそのあとに建設された資料館に保管されました。一部は明石高校の3階の現在の図書館にもあります。

貴重な書籍とは、松平直頼氏（明石城主の子孫の方です）・上谷榮吉氏・米澤貞二氏他から寄贈された書籍や、山内佐太郎先生が執筆されたり、所蔵されていた書籍のことです。

特に松平氏から寄贈された書籍のほとんどは、江戸時代に木版で出版されたものです。和紙を糸で綴じた、いわゆる和綴じの書籍で、保存状態のよいものが多いです。和紙は、丈夫で軽く白く保存性が高く、これが江戸時代のものかと思うと和紙の力に感動します。

内容のほんの一例を紹介します。まず、四書五経などの儒教の教典やその注釈書、資治通鑑などの歴史書など、高校の歴史の教科書にあるような中国の古典で、漢文（白文）で記されています。日本関係では、続日本紀・神皇正統記・元亨釈書・日本外史・古今和歌集などです。

三千冊を超えるこのような貴重な書籍について、明石高校ではほとんど利用されてこなかったということもあり、兵庫県立図書館に寄贈することとしました。平成27度中に資料館の書籍のほとんどは、本校ゆかりのものを除いて県立図書館に移管されました。いくつか写真を載せるのでご覧ください。



資治通鑑



五経の一つ禮記



古今和歌集



神皇正統記



元亨釈書



かつて多くの明中生・明高生の学びとなった  
山内記念図書館（昭和10年～平成2年）